



附属愛と誇りをもって

副校長 曲師政隆

附属小学校に赴任して、早いもので2か月が過ぎようとしています。4月に度々、自己紹介をする機会がありましたが、私は平成8年から12年間、附属小学校でお世話になりました。9年ぶりに戻ってくると、教職員の構成をはじめ、変わったことが多くありました。浦島太郎はこんな気持ちだったのかなと思うこともありました。校内を歩き回っているうちに懐かしい記憶がいろいろよみがえってきました。

初めて附属に来た当時は、仕事量の多さと長い通勤距離に、附属に来たことを後悔したこともありました。学級運営がうまくいかずに悩んだこともありました。そんな

ときに、いつも助けてくださったのが保護者の皆さんでした。学級の問題で臨時の学級懇談会を開いた時には、役員の方が会の進め方を一緒に考えてくださいました。保護者同士の些細なもめごとがあった時には、学級理事さんが間に入って解決してくださいました。「こんなことに、先生の手を煩わせる必要はありませんよ」と言われた学級理事さんの一言は今でも鮮明に記憶に残っています。また、算数や総合の授業



【初めて1年生を担当して(H14研究会)】

で、子供たちに「こんなことがしたい」と言ったら、次の日に必要なものが揃っていたことにも驚きました。とにかく、私が授業づくりに集中できるように、精一杯協力してくださいました。教員がよい授業を提供することが、子供たちの学力と意欲を高め、子供たちにとって充実した学校生活になること。子供が充実した学校生活を送ることが、家庭と学校の信頼関係につながることを理解しておられたのだと思います。

また、校内教頭の2年間は、ふたば会執行部の皆さんにお世話になりました。執行部の皆さんの中には会社役員の方が多く、会社を運営するうえで大切にしていること、企業が必要としている人材や将来の展望について、いろいろな話を聞きました。学校運営にも通じる点が多々あり、たいへん参考になりました。130周年記念事業や交流祭りを一緒に行い、とても楽しかったです。どれもよい思い出です。

私は、この附属小学校が好きです！今の自分があるのは附属のおかげです。附属小学校に恩返しする覚悟で、附属に対する愛情と附属であることの誇りをもって学校運営をしていきます。また、私にしてくださいましたのと同じように、今、本校に勤務する教員が授業づくりに集中できるように、ご協力よろしくお願ひします。

全力を出し切った運動会

20日（土）、雨の心配を全くしなくてよい快晴の天候の下、運動会を行いました。今年初めての真夏日で、7月下旬から8月上旬の暑さだったようですが、大きなけがや事故もなく、無事、運動会を終えることができました。保護者の皆さんには、前日準備に始まり、当日の応援、後片付けに至るまで、積極的に仕事をしていただきまして、ありがとうございました。



さて、黄団の優勝、赤・白団の同点次勝というとても珍しい結果に終わった運動会でしたが、どの団の子供たちもたいへんよく頑張っていました。特に、当日に至るまでの高学年の子供たちの頑張りには目を見張るものがありました。下級生をいかに統率するか、応援練習に向けて他の団にないアイデアをいかに絞り出すかなど・・・、うまくいかなくて涙を見せる場面、仲間と意見が合わず口論になる場面を幾度と見てきただけに、どの団にも大きな拍手を送りたいと思います。きっと、高学年の動きを見ていた下級生も、自分が高学年になったときに負けない行動をしてくれるものと思います。

暑さに負けず全力で競技や係活動に臨んだこと、団結し友達と協力しながら応援したこと、諦めないで最後までやりきったことを、これからの授業や学校行事等、日々の生活の中でも見せてくれることを期待します。



【選手宣誓】



【綱引き】

「欠席0の日」を願って

平成29年度が始まってから、残念なことに、まだ一度も全校420名の子供が揃った日がありません。（実は、平成28年度も一日も無かったそうです。）一日も早く「欠席0の日」が来ることを願っています。

誰でも朝起きた時に「今日はだるいな」「休みたいな」と思うことがあります。そんなとき、「それくらい大丈夫だから、学校へ行っておいで」と後押ししてあげてください。

もちろん病気やけがのときは、無理をさせず休ませてください。

